

## 実験への協力をお願い

### 1. 研究課題名

仮想現実におけるセンサーフュージョンに基づくグループレベル感情分類

### 2. 研究目的

異なる VR 環境や対話設定における感情表現と、対話の雰囲気や生体情報との関係が明らかにすることが目的です。また、感情データの持続収集と自己報告によるラベル付きの正確さを向上するために、強化学習に基づくセルフトレーニング機械学習フレームの有用性を確認します。

### 3. 実験内容

1) 研究協力者：下川原英理、劉滄

2) 作業内容：VR における実験参加者 2 名での対話を行っていただきます。VR 環境（4 種類）と対話設定（会話あり・会話なし）を変えて計測を行います。1 回の計測には、約 3 分間かかるので、のべ測定時間は、24 分(=4 世界×2 対話設定×3 分)となります。実験参加者の疲労軽減のため、1 回の計測ごとに約 5 分間の休憩を入れる。実験前準備(実験概要の説明)に約 15 分、後始末に約 10 分かかります。

3) 測定項目：ECG、視線、発話音声の録音、発話時の頭と体の動きの測定

### 4. 健康と心理へのリスク

本実験では VR における実験参加者 2 名の対話中に、センサーによる生体情報計測、ヘッドセットによる頭の動きの測定を行います。センサーの安全性が高いため、身体的健康上のリスクはほとんどございません。暗い環境で不気味な BGM とともに VR の世界を体験するため、両者にとって不快な感情状態が引き起こされる可能性がございます。実験開始前に精神疾患の有無を確認し、実験中に異常が発見され次第、実験を中断させていただきます。

### 6. 倫理的配慮

実験中にいかなる理由であっても、実験参加者の方が実験を辞退したいと申し出ていただいた場合、速やかに実験を中断させていただきます。また、本実験は実験参加者の方の自主的な参加で実施するため、実験参加者の方は不利益なく実験を辞退していただけます。また本実験で収集したデータは、個人名の代わりに通し番号を用いて匿名化を実施いたします。

### 6. 研究者と連絡先

1) 研究代表者

東京都立大学システムデザイン学部情報科学科 下川原英理

191-0065 日野市旭が丘 6-6 東京都立大学システムデザイン学部

電話番号 042-585-8649 E-mail eri@tmu.ac.jp

2) 共同研究者

劉滄